

令和元年度第1回 『県指定重要文化財「洋学校教師館」保存修理検討委員会』 会議録(要旨)

日 時：令和元年 7月31日（水）午前10時00分～

会 場：熊本市役所本庁舎 8階会議室

出席委員：猪飼委員、伊藤委員、伊東委員、磯田委員

事務局：松川文化・スポーツ交流部長、林文化振興課長、小関文化振興課副課長、本田主査、
能丸主査、田川主任技師、正源司主任技師、大久保技師、西川調査員、平田主任主事
オブザーバー：熊本県文化課 長谷部補佐、岩下指導主事

伊藤副委員長	いよいよ今年から実動に入る。なるべく速やかに運びたい。さっそく今後の移築スケジュールについて事務局からお願いしたい。
事務局（能丸）	「資料1」に基づき説明
伊藤副委員長	事務局の説明について、質問等はないか。
伊東委員	2019年度の災害査定は誰がどのような目的で行うのか。
事務局（本田）	文科省の社会教育施設の補助を受けるために協議を進めている。復旧工事は文科省による補助金の査定を受けてから着工したいと考えている。これが災害査定になる。
委員	文科省の職員が来るのか。
事務局（本田）	今年度から博物館等の施設の所管が文化庁に移っているので、文化庁の職員と財務省の職員が立ち会って査定が行われる。
伊藤副委員長	他になければ次に進みたい。 次は水前寺地区地元説明会の実施について説明をお願いしたい。
事務局（能丸）	「資料2」に基づき説明
伊藤副委員長	地元説明会について、委員から質問等はないか。
磯田委員	砂取校区4町内への説明で、配置計画について違和感があるという意見があるがどのような違和感か。
事務局（能丸）	地元で建物前の広場を祭りなどで使用している。ステージに向かって正面に観客が立つが、その際建物が斜めを向いていると違和感があるという意見。
伊藤副委員長	どこから見て正面か。
事務局（能丸）	広場に対して正面に客が来る。電車通りに向けると建物自体が斜めに見える。
伊藤副委員長	示した案でよいということか。
事務局（能丸）	その通り。こういった形をお示しした。（モニターの図を見ながら説明）
事務局（小関）	古城での創建当時の想定される配置をもとに、当時と同じ角度にするとこうなるという提案をさせていただいた。
伊藤副委員長	古城地区にあったときの建物の方角と一緒にということか。
事務局（小関）	創建のときの想定される角度、向きに合わせるとこうなるということ。 それよりも今の場所に合う形がいいという意見をいただいた。
伊東委員	（古城地区にあったときの建物の方角に基づき配置すると）電車通りに平行というわけでもないようだ。
事務局（小関）	その通りである。

伊藤副委員長	自分も今の案がいいと思う。県庁方面から来るときには、最初に建物の正面が見えて、だんだん斜めに見える。市街地の方から来ると斜めから見えてだんだん正面が見える、という変化が味わえる。
伊藤副委員長	地元説明会についてはよろしいか。 熊本県からは何か意見はないか。
熊本県	特にない。
伊藤副委員長	それでは水前寺公園内での配置案について説明願いたい。
事務局（本田）	「資料 3-1」に基づき説明
伊藤副委員長	なるべく北側に寄せて配置して広場を確保し、今の使い方を変えないようにしたい、ステージとして使っていた部分をそのまま使いたい、という趣旨のようだが、質問はないか。
磯田委員	（事務局案は）南向きだからいいかと思ったが、斜めの案（創建時の想定される向きを再現した案）が正確（に南向き）ということか。
事務局（本田）	完全に南向きだと、そうなる（創建当時の想定される建物の向きとなる）。正面が南側を向いている。敷地として一番北側に持ってきた、ということ。
磯田委員	斜めの案は真南を向いているということか。方位の根拠は何か。
事務局（本田）	資料から想定される、古城地区にあった当時の向きである。現場で調査をして実際の向きが分かったわけではない。
磯田委員	できるだけ当初の案（斜めの案）の南向きにしてもらった方がいいが、それは難しいのではないか。
事務局（本田）	地元からは、現在の敷地で南向きだと使いにくいとの意見が出ている。
猪飼委員長	現在地（被災地）の方位は南北か。
磯田委員	西向きである。移築するたびに方位が変わっている。
猪飼委員長	古城地区にあったときの方位もまだはっきりしていない。写真でみているだけだから。
磯田委員	事務局案も概ね南向きだということだが。南向きの方が、この建物のベランダコロニアルという建築様式としては正しい。 事務局の案について、理由付けをきちんとしておく必要がある。
猪飼委員長	基本は土地利用か。
伊藤副委員長	そうだと思う。
事務局（本田）	市としては建物と地域（のこれまでの公園利用）との共存が可能な案を考えている。
伊東委員	事務局の考え・意図は良く分かる。 文化財の側に立つと、今までの機能を保持しながら空いている敷地にきちきちに突っ込まれたという印象である。今後研究が進んで附属屋に関して明らかになったとき、新たに建てられる場所がない。周辺の外構部分がどのような形になるのかも気になる。
事務局（本田）	断面について説明「資料 3-2」 外から見て建物がきれいに見えるよう、写真に写っていた（創建時当時の）塀ではなく、被災した場所にあった時のような洋風のフェンスを設置したいと考えている。
伊東委員	本格的な塀を作ると、それが当初からあったように見えてしまうので、デザインが合うものを設置すればよいと思う。

伊藤副委員長	配置は事務局の案でいいと思う。建築計画的に言うと古城地区にあったときの方角を再現してもほとんど意味がない。今回建設する土地に合う論理で建てるべきである。地元と共存することも必要。 もう少し建物が前にあってもいいのではないかとも思うが、この建物自体が、正面のファサードが大事な部分なので、手前に段差や広場があって、水の空間、基壇があってという今の配置で絵になると思う。 前の柵が少し余計にも感じるが、安全対策のためなので仕方ない。 一度CGを作って、見え方のシミュレーションを行ってみてはどうか。 工事中は完成イメージとしてパネルで掲示すると住民の方も納得すると思う。 電車の停留所はどこになるか。
事務局（本田）	出入り口を出て横断歩道を渡ってすぐが電停である。
伊藤副委員長	電車を利用する人は、すぐ正面に降りることができるので、アプローチとしては非常に良いと考える。
猪飼委員長	公園内の桜の木はどうなるのか。
事務局（本田）	樹木や公園施設については場所を変えるなど検討したい。
猪飼委員長	現在のジェーンズ邸と同様トイレがないので、公園内のトイレを利用することになる。
伊藤副委員長	樹木は20年ほどするとかなり大きくなり、建物を隠してしまう。ジェーンズ邸の魅力は列柱等の建物の外観なので、出来るだけ見えるように気を遣ってほしい。
事務局（本田）	桜の木は移植をする予定である。
伊藤副委員長	そのように配慮するのであれば良い。 成趣園とのつながりはどのようになっているか。直接成趣園に入れるのか。
事務局（本田）	その点は成趣園と協議を行わなければならない。また商店街とも話をしなければならない。周遊も含めて今後の課題である。
伊藤副委員長	北側はすべて成趣園か。
事務局（本田）	その通り。南門が1番近いが、成趣園の入り口は西側一箇所のみである。
伊藤副委員長	建物ができると相当大きなモニュメントになる。目立つしロケーションもよく、前に広場があって観光客なども多いはず。県内外や国外から観光客が来た時に成趣園と行き来したり、江津湖へ行く方もいるだろう。そのあたりの計画はあるのか。
事務局（本田）	具体的な計画はまだである。ジェーンズ邸をこの場所へ移すことは成趣園、江津湖への周遊の拠点としての目的もあるので、今後の検討が必要と考える。
伊藤副委員長	例えばルートマップなど、具体的な案は考えていないのか。
事務局（本田）	現在具体的に提示できる案はない。
伊藤副委員長	駐車場はあるか。
事務局（本田）	成趣園の駐車場を利用してもらおう。また、夏目漱石大江旧居の駐車場を利用してもらい、周遊ルートを生み出すことも考えている。
伊藤副委員長	熊本県からは何か意見はないか。
熊本県	特にない。
伊藤副委員長	様々な意見が出たが、事務局の提案が承認されたという理解で良いと思う。 次に建築基準法適用除外について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局（本田）	「資料4-1、4-2、4-3」に基づき説明
伊藤副委員長	議論が必要かと思うがいかがか。

磯田委員	何のために外部階段を付けるのか。
事務局（本田）	避難誘導しやすくするためである。
伊藤副委員長	大きな問題としては手すりや排煙装置と外部階段の3点か。
事務局（本田）	その通りである。外部階段は、数値としてはクリアしているので、必ずしも付けなければならないというわけではない。
伊藤副委員長	外部階段は、今すぐではないが将来的に必要なのではないかということか。
事務局（本田）	建築指導課とも協議をしていく中で必要だということになるかもしれない。
伊藤副委員長	今回の工事では予定しているのか。
事務局（本田）	今のところは予定していない。ただ、適用除外の中で付けるという説明をすれば工事をしなければならない。
事務局（小関）	県指定の文化財で文化財的な価値がある。倒壊していて壁は新しくするが、梁・柱などは使う。そこに新しく設置するので壊すわけではないという考えもある一方で、元の形に戻し、景観や雰囲気を壊さないことも大事なので、検討が必要。最終的には県の教育委員会の許可が得られるように、ご意見をいただければと思う。
伊藤副委員長	設置にはスペースが必要かと思う。エレベーターは車いすの幅も考えなければならない。後ろの敷地を考えてもぎりぎりである。
事務局（本田）	エレベーターは難しいと思う。可能性として考えられるのは階段である。
伊藤副委員長	車いすの場合は持ち上げて上ということか。
事務局（本田）	車いすをスムーズに運べるかということまでは考えていない。複数人いれば対応できると思うが、常に可能ではないと思われる。
伊藤副委員長	車いすのことは想定していないけれども一応外部階段を付けるということか。避難の問題もあるかと思うが。
事務局（本田）	その通りである。螺旋階段であることと、基準はクリアしているが、（段差が）急な所もあるという理由である。
猪飼委員長	もし付けるとすると後ろの北側の方に付けるのか。
事務局（本田）	その通り。できるだけ正面から見えない場所に付けたい。3メートルほどスペースがあるので、階段であれば最低限の幅は確保できる。
伊藤副委員長	直線になるか途中で折れるか、形は分からないが。
事務局（本田）	スペースの関係からおそらく途中で踊り場を設ける形になると思う。
伊東委員	説明を聞いた限りでは問題ないと思う。非常階段に関してはデザインなどもあるが、ジェーンズ邸は国指定の重要文化財になる可能性があると考えているので、いざとなったら取り外せるなどの策が考慮されていればよいのではないかと。事務局の説明によると考慮されているようなので問題はない。
磯田委員	どこかを壊す必要があるか。
事務局（本田）	北側は窓しかないので、出入り口を作らなければ（壊さなければ）ならない。ベランダがあるのでそこに持ってくるという案も考えられるが、避難経路として使うので、ベランダの手すりの高さにも影響してくる。外観を守る上では、部屋うちからでないといけない。
伊藤副委員長	付けるならば後ろしかないと思う。敷地としても後ろから見えるようにはなっておらず、外観にそこまで影響はない。配慮しながら付けるのは問題ないとする。階段が1か所しかない、人が集中して避難時に事故が起こる可能性もある。二方向避難という意味でも外部階段を付けるのは構わないと思うし、むしろ今の時代推奨

	されることかもしれない。
猪飼委員長	やむを得ないと思う。
伊東委員	非常階段は引っかかる部分はあるが、その他はいいと思う。
事務局（本田）	手すりなどは取り外せば元に戻るという方向で整備を考えている。
伊藤副委員長	手すりの話に移る。今のままではいけないのか。踏面の幅が足りないということか。
事務局（本田）	基準法の考え方では難しい。また、使いやすいところに手すりがないと余計に危ない。両方の意味で避難時には必要。安全対策は最低限とっていきたい。
猪飼委員長	付けるとすれば木製か。
事務局（本田）	最終的には相談しながら決める。同調させて木製にするか、異質のものにするか、ご意見をいただきたい。
伊藤副委員長	新しい手すりを付ける場合、階段の有効幅はどれくらいか。
事務局（本田）	一番厳しいところで 750mm なので、それがとれるように考えている。
伊藤副委員長	上り口・降り口で 750mm になるということか。
事務局（本田）	その通りである。
伊藤副委員長	少し狭い気もする。
事務局（本田）	最低限の幅をぎりぎりとしている状態である。
伊藤副委員長	一律に同心円状にするのではなく、 750mm の付近は今の手すりに沿わせることはできないか。
事務局（本田）	寸法が取れる位置がどこか、詳細に計画していかなければならない。
伊藤副委員長	900mm ぐらいはとりたいところであると思うが。
事務局（本田）	この形状では不可能だと思う。広くとれるところもあるが、ぎりぎりの場所もある。
伊藤副委員長	新しく手すりを付けるところを、 300 mm ではなくて少し短くするということはできるか。
事務局（本田）	それと踏面も満足に、というのは検討が必要だが、可能な限りやってもそこまで広くはならない。
磯田委員	厳しいと思う。
事務局（本田）	最初から内部階段は満足させず、外部階段でという考え方もあるとは思う。
磯田委員	通常使うのは内部階段。外部階段は非常階段あるいは物の搬入で使うのだろう。
事務局（本田）	整備の手すりを付けたほうが昇降しやすい。内部階段では有効幅を考えずに、外部階段で満足するよう整備する方法もあるが、市としては両方を法的に有効な避難階段として設置したい。
伊藤副委員長	移設後は場所としても目立つので、今までジェーンズ邸を知らなかった人や県外からの観光客など来館者が増えると思う。もう少し検討が必要ではないか。基本的には内部階段に手すりを付けるのは良いと思うが、いかがか。
事務局（本田）	仕方ないと思う。
伊藤副委員長	本当は付けたくないが…。一番内側の踏面はどれくらいか。 20cm ないくらいか。
事務局（丹後田）	実際には測っていない。
猪飼委員長	特別不便か。
事務局（本田）	スムーズに昇降できる階段ではない。
伊藤副委員長	特に降りるときが高齢者にとっても不便である。デザインなども含めて今後検討してもらいたい。 次に排煙装置についてはどうか。これはシックハウス対策とは違って煙対策か。

事務局（本田）	その通りである。運用併用でいかざるを得ない。2階からスムーズに避難誘導できる人数を想定して運用していくしかない。外部階段を設置するならば人数を増やしてもいいと思う。具体的な人数の想定はまだである。
伊藤副委員長	外部階段を設置すれば緩和されるということか。
事務局（本田）	その通りである。外部階段を設置すれば避難経路がきちんと確保できるという説明もあわせて行う。
伊藤副委員長	今までは人数制限はしていたのか。
事務局（本田）	今までは一度に来館する人数がそこまで多くなかったので、人数制限は行っていなかった。しかし移設後は来館者数が増えることが見込まれるので、検討する必要がある。
伊藤副委員長	やむを得ないかと思うが、いかがか。手すり・排煙装置・外部階段について議論したが、方向性は定まったと思う。他に問題はないか。
事務局（本田）	シックハウスの問題がある。内部からも器具が見えたり、(図示しながら)ここに天井を作らなければならないので、下がり天井が見えたりする。
伊藤副委員長	廊下部分は天井に段差があって下がってきてしまうということか。
事務局（本田）	1階は壁があるので目立たないが、2階は何もない所なので目立つ。
伊藤副委員長	2階も階段の壁の裏ではないのか。
事務局（本田）	2階は壁がない。1階は壁の中に収めれば違和感はないと思う。
伊藤副委員長	それは排煙装置か。シックハウス用か。
事務局（本田）	シックハウス用なのであくまで換気設備。空気を滞留させず循環させるものである。
伊藤副委員長	天井裏に逃がして軒下から排煙するわけにはいかないのか。
事務局（本田）	詳細は検討が必要である。
伊藤副委員長	天井を下げるのが一番単純なやり方とは思いますが。
事務局（本田）	どちらがオリジナルにとってよいのかということ。ただし作り変えるので…。
伊藤副委員長	北側の軒下がどうなっているか、そこに入るかという問題もある。
事務局（本田）	詳細はこれから検討する。オリジナルにとって良いものを考えたい。
伊藤副委員長	他に問題はあるか。
猪飼委員長	間取りが歴史的に変遷しているということは确实。問題はどのレベルまで復元できるかである。その検討はどれくらいの期間でできるのか。
事務局（本田）	今の想定でも小部屋があったのではないかという意見もある。今の時点では、部材を保管庫に置いているため、詳細な調査ができていないが、工事を進めながら委員会や現地で確認いただき、当時のものに近い状態にしていきたい。
伊東委員	間取りやデザインなどの痕跡は気になっている。倒壊でバラバラになったことで今まで見えなかった部分が見えてきて建設年代に関わるもの、大工の名前、番付など確認されるかもしれない。 地震前に修理を考えていて、先生方と調査を行った。有田の異人館では文建協の修理ではなかったが、きちんと管理されていて重要文化財になっている。 それよりも規模が大きいし、建設年代が明治4年だという証拠がはっきりと分

	<p>かれば、必ずしも棟札があるわけではなくて、記録や日記からでも根拠があると述べる事ができれば、十分国指定の文化財になる可能性がある。修理工事報告書を出して先生方に書いてもらえることがあれば、大きなチャンス。文化庁の職員を呼んで状況を説明することが必要なのでは。そのために調査の報告を聞きたい。また附属屋は復元されなかったが、バーチャルリアリティーでも模型でも良いが考察結果を報告書に盛り込み、アピールできれば可能性も生まれるのではないかと。</p>
伊藤副委員長	<p>ぜひ国指定の文化財にもっていかないといけない。熊本市としても宝が増えることになるので、十分配慮してもらいたい。展示のこともあるので、復元をきちんとすることも大事だが、展示としてどう見せるか。展示として見せることと内部を復元することは必ずしも競合しない。内部復元はバーチャルリアリティーであるのか、展示は展示空間として使うのか。考え方を整理する必要がある。私は、(ジェーンズ邸については) 建築を見せるものだと思う。歴史資料を見せるのが大事だという意見もあると思う。展示・復元をするときは気を付けなければならない。</p>
猪飼委員長	<p>例えば、煙突もレンガになっているが、文献では安山岩である。復元の際には…。</p>
伊藤副委員長	<p>建築基準法の適用除外に関しては他にないか。</p>
事務局 (本田)	<p>いただいた意見を基に各所に相談し、いただいた意見を基に協議しながら検討していく。</p>
伊藤副委員長	<p>その他について何かあるか。</p>
磯田委員	<p>ジェーンズ邸の創建当初の位置について、市としてもしっかり PR していきたいという話だが、PR の現状を教えてください。</p>
伊藤副委員長	<p>古城地区にあったことを PR していきたいということ。</p>
事務局 (小関)	<p>古城地区、一新校区の皆様と話し合う中で、古城地区はジェーンズ邸だけでなく医学校を含めた熊本の近代教育の黎明の地であるという説明版を、創建地付近に設置することを検討している。</p> <p>ジェーンズ邸の展示の中で、もともと古城地区にあったという歴史を伝えていくとともに、水前寺地区と古城地区が連携して PR できるような取り組みをしていきたいと考えている。具体的な時期や方法は未定であるが、説明板や館内展示、パンフレットを想定している。</p>
磯田委員	<p>ぜひお願いしたい。</p>
事務局 (小関)	<p>一新校区の創建地への移築を求めている皆様とも話をしながら進めていきたい。</p>
磯田委員	<p>よろしくお願いしたい。</p>
猪飼委員長	<p>地盤調査も済み、我々が満足し、住民が理解できるような形で実物が再建できるか、スケジュールも見えてきた。明らかでないことも多々あるので、皆様の知恵を集めて復元できるよう、創建地の方も移築地の方も両方がよかったと言えるように我々も協力していきたい。</p>
伊藤副委員長	<p>それでは、これにて委員会を終了する。</p>